

# モザンビーク

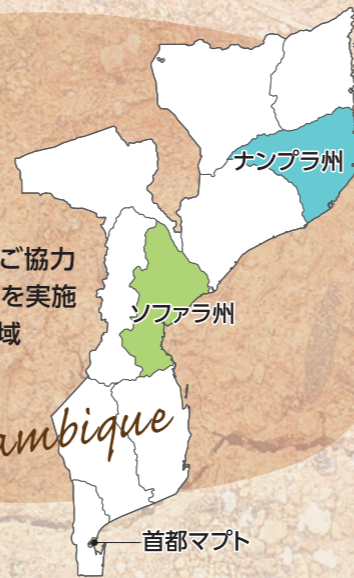
## 活動報告

(2021年6月～2022年5月)

日本からのご協力  
で教育支援を実施  
している地域

Mozambique

首都マプト



日本の皆さまからのあたたかいご協力により、モザンビークの子どもたちへ教育支援を届けることができました。心より御礼申し上げます。

モザンビークでは、500万人を超える5歳未満の子どものうち、幼稚園などの就学前教育を受けている子どもは5%以下と低い状況です。乳幼児期は、脳が飛躍的に発達する大切な時期で、子どもたちの好奇心を満たす刺激や知識、情緒、社会性の発達などに配慮したケアを子どもが受けることは、その後の人生においても重要なことです。また、初等教育については、過去10年間で入学できる子どもの数は大きく増加しましたが、教育の質が低く、2016年に実施された小学3年生の調査では、読み書きが4.9%、算数では7.7%の子どもしか目標とする学力に達していませんでした。小学校の修了率は45%と、半数以上の子どもたちが小学校を卒業できていません。ユニセフは、日本の皆さまからのご寄付をもとに、就学前教育の普及と初等教育での教育の質の向上を目標に、次のような支援を行いました。

### Report 1

## 子どもたちの教育の基礎となる就学前教育を

ユニセフは、モザンビーク教育省とともに、小学校入学前の5歳～6歳の子どもが就学前教育を受け、小学校で学ぶ準備ができるように、「短期集中就学準備(ASR)プログラム」を推進しています。日本の皆さまのご協力により、ナンブラ州の**2,460人の子ども**(障がいのある子ども37人を含む)が同プログラムに参加することができました。



プログラムに参加する子どもたち

子どもたちは、**120時間(8週間、週5日、1日あたり3時間)**をかけて、数の数え方や公用語のポルトガル語での読み聞かせなどを通じて、基礎的な算数と言語スキルを身につけ、グループ活動を通じて、社会性を育むことができました。プログラム修了後は、参加者全員が小学校に入学することができ、ナンブラ州の初等教育の就学率55.1%を大きく超える結果となり、プログラムが小学校入学の大きな後押しとなっていることが証明されました。



小学1年生の遊びを取り入れた授業

このプログラムを開始するにあたり、子どもたちを指導する**指導員164人**が10日間、保護者向けの講習会の**講師84人**が2日間の研修を受講しました。**2,460人の保護者**が参加した講習会では、乳幼児期の脳の発達について、子どもたちの自信や自尊心を育む方法、学習での親の役割、衛生や栄養などについて学びました。また、子どもたちが外で遊べるように、ブランコやシーソー、ジャングルジムなどの遊具を作るための資材も提供し、**合計41の遊び場**が設置されました。屋外での遊びは、運動能力や認知能力、コミュニケーション力など、身体、社会、情緒面での様々なスキルを子どもたちが身につけることに役立ちます。さらに、**小学1年生を担当する教員84人**が、子どもたちがスムーズに小学校に適應できるように、遊びを取り入れた指導方法や子どもたちが学びやすい学習環境や教材作りについての研修に参加しました。

### Report 2

## 質の高い教育で子どもたちが小学校を卒業できるように

### 水と衛生環境を整える

手押しポンプを備えた**手洗い場を19校に設置**し、**10,821人の児童**と地域住民5,700人が安全な水を使用できるようになりました。また、**男女別のトイレを15校に設置**し、**14,997人の児童**が利用しています。さらに、15校の264人の児童クラブのメンバーを対象に研修を行い、クラブ活動を通じて子どもたちは、爪や髪などの身だしなみ、歯磨き、生理、衛生習慣、新型コロナウイルスの感染症対策などを学びました。また、手洗い場を新たに設置する30校で、教員や地域住民などから構成される水委員会を設立し、地域住民からの水の使用料の徴収や財務管理、メンテナンス、修理など、手洗い場が持続可能な方法で維持できるように研修が行われ、228人が参加しました。



学校に新たに設置された男女別のトイレ

### 学校でのライフスキル活動

444人の児童が子どもの権利とライフスキル<sup>\*</sup>に関する研修を受けました。研修を受けた児童たちは、それぞれの学校で、児童婚や早すぎる妊娠、生理など、とくに女の子に関わる問題について話し合うライフスキル活動を開始し、合計**2,500人の児童**が参加しました。また、思春期を迎えた女の子たちが生理中に学校に通えなくなる問題を解決するために、250校からの代表者を対象に生理の正しい知識や衛生管理について研修を行い、校内での啓発活動や女の子たちが生理中にも通学することを奨励する重要性について学びました。研修の最後には、女子の欠席率を改善するための行動計画を各校で立てました。

<sup>\*</sup>ライフスキル：日常生活に生じる様々な問題や要求に対して、建設的かつ効果的に対処するために必要な力

### 教員研修などを行い、学校教育の質を向上させる

子どもたちが質の高い教育を受け中退することなく修了できるように、教員など教育関係者に次のような研修を行いました。

- 学習レベルの向上のため、教員、児童用の算数キットや読み物教材を提供し、これらの教材を有効活用できるように**229校の教員**が研修を受講。
- 80人の校長**が30日間の研修を受け、学校運営、財務管理、教育学、情報通信技術(ICT)などについて学ぶ。
- 教員、保護者、児童、地域住民などで構成される**学校運営委員会のメンバー1,840人**が児童婚や早すぎる妊娠、欠席、中退などの問題解決について学ぶ。